

H O YOG

教区新報

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)341-5949(代)
【編集】教区基推委広報部

2012. 6 181号



力強く話される野中師

野中師は、官房長官時代の話など政界での仕事の話や浄土真宗との関わり、また、職場で差別(発言)を受けたことがきっかけで政界に出る事を決めたこと、平和問題について等、様々なお話を頂戴した。

講演に続いての協議会では事務局より、新体制となった本願寺機構の説明、教区事務の質問事項に対する説明などが行われた。

その後、お夕事で霜尾孝紹赤穂南組組長の感話を頂き研修は終了、懇親会への運びとなった。

懇親会には宗会議員の豊原大成師、西脇修師、菅義成師、各師も参加され互いの親睦を深めた。

翌日はお辰朝の後、那波正文組長兼副会長の閉会の挨拶で、研修会は締めくくられた。

六月十一日から一泊二日の日程で、『平成二十四年度兵庫教区組長・副組長等合同研修会』が西播ブロック担当のもと、

の親睦をはかることを目的に開催されるもので、今回は各組組長・副組長を筆頭に、百二十六名が

野中師は、官房長官時代の話など政界での仕事の話や浄土真宗との関わり、また、職場で差別(発言)を受けたことがきっかけで政界に出る事を決めたこと、平和問題について等、様々なお話を頂戴した。

新組長・副組長らが研修講師に野中廣務師

教区会議長、中尾教雄蓮華会会長の挨拶、織田良雲赤穂北組組長の挨拶にて開会。

記念講演には野中廣務師(元内閣官房長官・元自由民主党幹事長)をお迎えした。

野中師は、官房長官時代の話など政界での仕事の話や浄土真宗との関わり、また、職場で差別(発言)を受けたことがきっかけで政界に出る事を決めたこと、平和問題について等、様々なお話を頂戴した。

講演に続いての協議会では事務局より、新体制となった本願寺機構の説明、教区事務の質問事項に対する説明などが行われた。

その後、お夕事で霜尾孝紹赤穂南組組長の感話を頂き研修は終了、懇親会への運びとなった。

懇親会には宗会議員の豊原大成師、西脇修師、菅義成師、各師も参加され互いの親睦を深めた。

翌日はお辰朝の後、那波正文組長兼副会長の閉会の挨拶で、研修会は締めくくられた。



書店で危機管理のための書籍を見かけ購入しました。

そこには、東日本大震災が発生し、甚大な被害と二万人を超える多数の方々が亡くなられたことから、災害対策について詳しく説明されています。また危機の発生に遭って避難生活を送っておられる方々に寄り添うことと共に大切なことが『危機意識』と『自助意識』という点でした。被害を予測して、それを未然に防ぐ意識がないとリスクにさらされたままの状態です。防災・減災の考えが必要なのです。また危機の発生に際しては、自らの行動により救われるという自助意識です。共助や公助がありますが、規模的なことや困難度によっても対応が取れないことがあるので、普段からの備えがやはり大事です。自分が助からねば、救助活動にも参加できません。自他ともに、大切ないのちを護るための実践を始めましょう。

加古川組普光寺 近藤龍樹

教区だより 7月・8月		
7月		
2(月)	矯正教化連盟総会並びに研修会	15:00
3(火)	青僧会役員会・スタッフ会議	14:00
4(水)	少年連盟サマースクールスタッフ会議①	15:00
"	平成24年度蓮華会総会・新住職就任祝賀の集い	10:30
5(木)	布教同志会役員会	15:00
6(金)	新坊守・坊守後継者の集い	10:00
7(土)	仏教東播ブロック別研修会 生石研修センター	13:00
"	第一土曜仏教講座(石川了佑師 株式会社金剛組)	13:30
"	東日本大震災チャリティコンサート	15:00
9(月)	御同朋の社会をめざす運動研修会	13:30
11(水)	第153回臨時教区会	10:30
12(木)	キッズサンガサポーター研修会①	
"	キッズサンガサポーター研修会・協議会	13:30
13(金)	キッズサンガサポーター研修会②	
15(日)	常例法座(16日まで 高崎正英師 神崎組)	13:30
17(火)	少年連盟サマースクールスタッフ会議②	15:00
18(水)	佛教文化講座(神戸市佛教連合会)	17:00
19(木)	仏婦単位会会長研修会	
22(日)	第49回少年連盟サマースクール(24日まで)	
24(火)	総代会一泊研修会(25日まで)	終日
26(木)	コーラス練習会	13:30
29(日)	仏教阪神・神戸ブロック別研修会	10:30
"	仏教姫路・西播ブロック別研修会 網干組聖安寺	13:00
"	仏教丹波・但馬ブロック別研修会 氷上東組受業寺	13:00
8月		
1(水)	暁天講座(3日まで)	7:00
	モダン寺土曜子ども会サマースクール(2日まで)	
4(土)	第一土曜仏教講座(渡邊高広 香老齋玉堂)	13:30
15(水)	神戸別院盂蘭盆会	13:30
20(月)	第3連区布教使研修会(21日まで) 津村別院	
29(水)	寺婦ブロック別研修会	10:00
30(木)	幼学寮真宗講座(31日まで)	13:00



【創作劇】親鸞聖人七五〇回大遠忌記念公演

親鸞わが心のアジヤセ

王舎城の悲劇の物語が豪華キャストで舞台化!

◆公演日時/九月四日 中山仁(ペンバシヤラ)

(火) 十二時開場/十三時開演

時開演◆会場/神戸文化ホール◆チケット料金/二千円(指定席・税込)

◆キャスト/音無美紀

子(イダイケ)/川崎麻世(アジャセ・親鸞)

限/七月三十一日(火)

※各教化団体(総代会・仏婦・寺婦・仏壮・門推)による組取りまとめの申込も行っております。席については申込期限後、振分けにより指定席となります。

敬 弔

左記の方がご逝去されましたので謹んで敬弔の意を表します。

中山 沃 (阪神北組教行寺前住職) 平成二十四年五月二十四日八十七歳

照戸 星 (掛龍西組南正寺前坊守) 平成二十四年五月二十日九十七歳

森本 教明 (神戸中組光徳寺住職) 平成二十四年五月三十日九十五歳

天野 時雄 (姫路中組順正寺住職) 平成二十四年六月九日七十六歳【敬称略】

六月十三日現在

リーフレット『おぼん』受付開始

教区事務関係Q&A

組長・副組長等合同研修会の協議会にて、教区事務局より提出の『教区事務関係Q&A』の中より、皆様の寺院にも関係の深いものを一部抜粋して掲載いたします。

【組会関係】

◇Q組会の議決について？ A組会は、組会議員二分の一以上の出席を以て成立し、議事は、出席者の過半数の賛成によって決定となります。◇Q組会の組織（構成員）は？ A組会は、組内の寺院及び教会から代表として僧侶及び門徒各一人が出ていただき組織します。門徒組会議員は、帰敬式を受けた方のみとなります。

【願記関係】

◇Q願記とは？ A願記には申請と届出の二種類があります。おむね『宗派に願い出て承認や任命を受けるため提出する書類』を申請といい、『寺院



126名の参加者（協議会にて）

で決定した事項を宗派に報告する書類』を届出とします。基本的に申請願記には冥加金の納入が必要となり、届出願記には冥加金が不要です。ただし『法要慶祝御扱交付申請』のように申請があつても冥加金が不要なものがありますので留意ください。なお、教区の冥加額は規定により宗派の五割となつていますが、組の冥加額は宗派の二割までの範囲で、各組の制定する規定に従つていただくこととなります。◇Q願記の種類は？ A願記の種類は多岐に分かれますが、大きくは役員関係、個人関係、類聚関係、寺院関係、その他の五系統に分かれます。①役員関係とは、任職や責任役員などの任命申請や門徒総代の登録など、法人役員申請にかかわるものです。②個人関係とは、改姓や所属寺変更など個人の僧籍に関わる申請で

「任職（代表役員）」「副任職」「寺族代表者」などがあり、退任するまで職に留まります。また、任職に就いて後任者の申請なしに退職することはできません（死亡の場合を除く）。任期のある役職としては「責任役員（四一年）」「門徒総代（四一年）」と「任職代務（二年）」があります。◇Q「得度考査」について？ A「得度考査」は、僧侶の基礎資格に当たるもので、宗門の設立した学校法人の経営する中学卒業以上の学歴を有する人（得度考査免除者）以外は得度考査を受けていただく事になります。「得度考査」では、筆記試験・動式・教務所長面接を実施、兵庫教区では定期的に実施

【実践運動】

していません、受験者として教務所長の日程を調整の上実施します。冥加金は教区に一万五千円必要です。◇Q慶弔について？ A各寺院で慶弔があつた場合、宗派より祝詞や弔慰を交付いただく事が出来ます。慶弔としては、本堂や庫裏の落慶法要、住職継職法要、宗祖大遠忌法要や蓮師遠忌法要などに際し、法要慶祝御扱交付申請をいただく祝詞や記念品が交付されます。法要修業日の一ヶ月前三ヶ月前に申請することになっております。◇Q基幹運動は、今年度から新しい体制になると聞いていますが？ A今年度から「御同朋の社会をめぐす運動」（実践運動）と改め推進することとなりました。◇Qどのような体制が変更されたのでしょうか？ Aこれまで教区基推委では、七十八名の委員を教区より推薦し、委員に任命されておりましたが、新体制では、五十名の委員の内、各組から

布教団副団長、再任

六月六日、神戸別院を会場に『兵庫教区布教団平成二十四年度総会並びに研修会』が開催された。開会式に先立ち、別院本堂にて『平成二十三年度団員物故者総追悼法要』が勤まつた後、教区布教団長の挨拶にて会は開会。続いて、今年度新たに任用された布教使に、布教使任用辞令の伝達が行われた。（新たに任用の布



団長の教務所長より布教使任用辞令の伝達

その後、総会が開かれ、今年度は役員改選の年度にあたるため、新役員を選出。承認等が行われた。引き続き、副団長は多田満之師・藤榮行信師・増井浄見師の三名が再任された。総会の後、会場を別院ホールに移して、研修会が行われた。今回の研修は、布教使の話術の向上も兼ね「落語」を聴くというこ



いつもは研修で使われるホールの舞台上

「間の取り方、表情、声の強弱など、落語と布教の違いはあるが、複数の聴衆にむけて話すというテクニク、表現法など、落語から学ぶことは多くあると感じた」などと語った。

子ども会指導者が研修

～近畿六教区から神戸レインボーハウスに～



子ども達の話し合いの部屋で

六月五日から一泊二日の日程で、『第二ブロック少年連盟指導者研修会』が、兵庫教区少年連盟主催のもと開催された。

本研修会は、近畿六教区持ち回りで毎年開催され、研修を通して、第三ブロックの少年連盟指導者や、子ども会の指導者が相互の連携と親睦を深める事を目的としており、今回は、兵庫教区スタッフも含め五十二名の参加の中、研修が行われた。初日は、あしなが育英会による阪神淡路大震災での震災孤児のために設立されたケアセンター「神戸レインボーハウス（虹の家）」（神戸市東灘区）にて研修が



船のデッキで乾杯

行われた。レインボーハウスでは、館長の富岡誠氏より、あしなが育英会の活動の説明や、震災や病気・事故・自死などで親を亡くした遺児たちの心のケアについて、実際の事例を通しての話聞かせていただいた。また、子どもの心のケアを考へて作られた施設の見学等を通して、研修を行った。初日の研修後は、夕食懇親会となり、神戸港にてクルージングディナー（神戸シーバス観光）となった。初夏の涼やかな風と、神戸港の夜景を背景に、和やかな雰囲気での夕食懇親会となった。二日目は、会場を神戸別院に移しての研修となり、講師に季平博昭師（宗派人権問題啓発委員会事務局長）を迎えて、講義・話し合い法座・まどめの講義が開かれた。研修会の最後は、次期開催教区の滋賀教区少年連盟委員長嶋本隆道氏より、挨拶を頂戴して閉会となった。